

【対象】学内教職員・博士／修士課程学生限定 ※要事前登録

2024年度 | 第7回 |

Research Showcase

# Hidden Jewels Session

Vol. 16 & 17



## 消費者の商品選択プロセスの研究 ～文理融合の成果より～

消費者が商品やサービスを選ぶまでのプロセスの解明は、マーケティング戦略のみならず、投票行動や病院の選択などさまざまな分野に応用可能です。従来まではアンケート調査での解明が試みられていましたが、調査の限界から真相解明はなかなかできませんでした。今回の講演では、理工学部の満倉靖恵教授の開発された「感性アナライザ」とアイトラッキングを用い、より客観的指標で捉える試みを、KGRIの目指す文理融合の一つの例としてご紹介します。



清水 聡 商学部教授

慶應義塾大学商学部教授。慶應義塾大学商学部卒、同大学院修士課程、博士課程卒。博士(商学)。明治学院大学経済学部専任講師、助教授、教授を経て、2009年より現職。専門はマーケティング、特に消費者行動論とマーケティング戦略。日本商業学会理事、日本消費者行動研究学会元会長、日本広告学会理事。

## コンピューティングと パーソナライゼーションは何処へ行くのか？

コンピューティングの歴史は、ある意味で「パーソナライゼーションの歴史」と言っても良いかも知れません。パーソナル・コンピュータの登場は一人一人がコンピューティングを持てる時代を創り、WebやブログやSNSは、情報環境のパーソナライゼーションを大きく進めました。本講演ではそれらの流れを振り返り、いくつかの研究を紹介するとともに、パーソナライゼーションが内包する今後の課題や展望を議論します。



大越 匡 環境情報学部准教授

慶應義塾大学環境情報学部准教授。大学院政策・メディア研究科修士、カーネギーメロン大学計算機科学部計算機科学科修士、7年間の“Web2.0”業界での企業勤務を経て2015年博士取得(政策・メディア研究科)。モバイル/ユビキタス・コンピューティング・システム、人のWell-beingを促進させるコンピューティング/AI技術の研究に取り組む。

### プログラム | 第1部

研究発表  
20分

清水 聡 商学部教授

異分野融合  
サロントーク  
30分

清水 聡 商学部教授  
牛場 潤一 理工学部生命情報学科教授※  
山本 龍彦 法務研究科教授 (KGRI副所長)※

### プログラム | 第2部

研究発表  
20分

大越 匡 環境情報学部准教授

異分野融合  
サロントーク  
30分

大越 匡 環境情報学部准教授  
牛場 潤一 理工学部生命情報学科教授※  
山本 龍彦 法務研究科教授 (KGRI副所長)※

※KGRI研究広報担当 Lead

2024年12月18日(水) 18:10～20:40

慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎3階

社中交歓 萬來舎

申込みはこちら

